

## 3年生が修学旅行へ ～命と絆の大切さを実感～

4月24日から26日まで、3年生が沖縄方面に修学旅行に行きました。出発前の雨の予報にもかかわらず、旅行中は天候に恵まれました。沖縄の豊かな自然や歴史を肌で感じながら、特に一日目は命の尊さを、二日目は人と人の絆の大切さを実感したのではないのでしょうか。

一日目のガマ（沖縄戦で住民が避難した洞窟）や読谷村役場での平和学習フィールドワーク。今から71年前、激しい戦いの舞台となり多くの命が失われた沖縄を訪れ、自身の体と心でその場を実感しました。「戦争は人間が人間でなくなる。当時、自分で道は選べなかった。人権がなかった。今、生かされている命に感謝しよう。」といった地元ガイドの方の話聞いて、一人ひとりが真剣に考えました。そして、2年時から学習しその思いをまとめた平和宣言文を原稿をもたずに、実行委員が中心となりみんなで宣言しました。真剣に話を聞き、積極的に受け答えをしてセレモニーに臨む老中生の姿に、地元ガイドの方々が絶賛されていました。

二日目の伊江島での民泊体験。民泊先の家族との劇的な出会い、家族の案内による城山（ぐすくやま）、伊江ビーチ、ハイビスカス園などの観光、郷土料理をいただきながらの楽しい会話など、沖縄の自然を満喫したり人の温かさを感じるひと時でした。伊江島に高校はなくわが子を中学校卒業とともに送り立ちさせてきた島の人たちだからこそ、お客さん扱いでない温かさをもって接していただいたのでしょう。「いってらっしゃい」と送り出してもらった「家族」のいる伊江島が第二の故郷となったのではないのでしょうか。

### 2016年 老上中学校 平和宣言文（一部抜粋）

私たち、そして私たちの父母は戦争を知らず、その悲惨さからほど遠い平和な毎日を当たり前のように過ごしています。

……

私たちにできることは何なのでしょう。今の私たちの周りに「戦争」はありませんが、いじめや差別は数え切れないほどあるのではないのでしょうか。71年前に生きてくても生きられなかった人、夢や希望を奪われた方々に「今は平和だ」と胸を張って言えるのでしょうか。

私たちは戦争や平和、人権の大切さについて小学校の頃からたくさん学んできたはず。私たちは、今こそ暴言と暴力と決別し、互いを尊重し合い、安心して安全な世の中を作っていくことを決意します。

未来を担う私たちは、

- 一つ、さずかったかけがえない命に感謝し、いじめをなくし、困っている人に手をさしのべ、自分と周りの人の人権を大切にします。
- 一つ、戦争の恐ろしさと、平和の尊さをかみしめ、二度と戦争の起こらない日本にするために学習を深め、平和を愛する心を広めていきます。
- 一つ、日々の何気ない言動にも心を込め、進んであいさつができたり、人の痛みが自分の痛みとしてとらえられる人になれるよう努力を惜しみません。

……

私たちの世代が戦争体験者の方から直接お話を聞ける最後の世代だと言われています。私たちは命のバトンと共に戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぎ、いじめや差別のない未来を創っていくために生き生きと輝いた毎日を過ごしていくことをここに宣言します。

2016年4月24日 滋賀県草津市立老上中学校 三年生



チビチリガマでの平和学習



これ焼けてるよ(1日目夕食)



イケてる！？(城山にて)



オキナワ体験!(伊江島にて)



いってらっしゃーい(伊江島出発)

# 春季総体、吹奏楽祭が終わる

5月19日(木)、20日(金)の二日間、中学校春季総合体育大会が開催されました。また、吹奏楽部は滋賀県吹奏楽祭に参加しました。日ごろの練習の成果を十分に発揮できたでしょうか。いくつかの競技会場に応援に行きましたが、全力で力を尽くして競技をしている生徒の姿と白熱するプレーに大声で声援をおくる生徒の姿に、チームとしての一体感を感じ、たいへん感銘をうけました。精一杯のプレーや演奏をしてもなかなか結果が出せなかった人もいることでしょう。いけると思ったそのすきに相手に点を取られて悔しい思いをした人もいることでしょう。他のチームのプレーを見たり、演奏を聴いたりして、自分たちに足りないところを分析しながら、次の大会への決意を新たにする姿にもふれ、うれしく思いました。その思いを忘れず、練習を続けていけば、きっと次は満足のいく結果をものにすることができるのではないのでしょうか。



20数年前のことになりますが、私がいた学校のサッカー部は県大会では余裕で優勝するとも言われた強豪チームでした。ところが、春季大会では油断をしたのか、十分な力が発揮できずあっけなく3回戦で敗退しました。その時、生徒たちは、先生からの指示を受けるのではなく、自分たちでミーティングをして、毎朝、走り込みなどのトレーニングを始めることを決め、実行しました。そして迎えた夏季大会、見違えるような動きとチームワークを見せ、見事全国大会出場を果たしました。

また、大リーガーのイチロー選手に高校時代に指導された中村監督はこのように部員に言っていたそうです。「やらされている百発より、やる気の一発」いくら指導者が熱を入れても、選手側が「やらされている」という意識で練習していたのでは何の進歩もない。やる気の一発はやらされてすることの百発にも勝る。そして、そのことを誰にも言われずとも実践し、自らの道を開拓していったのが、高校時代のイチロー選手だったということです。



次は7月の夏季大会、吹奏楽コンクールとなりますが、今回の大会を教訓にして8月にはやりきった満足感ももてるよう、自分たち自身で目標を定め実行してがんばってください。

# 授業を大切に、自分で考えて学習しよう

「いろいろな考えを知ること」これは学校で勉強することの大きな意義の一つです。また、その学校での勉強をもとに「自分で考え勉強(実行)する力をつけること」それは、これから長い人生を生きていく中で求められることです。

新学年になってほぼ2か月がすぎましたが、授業は真剣に受けられていますか。授業ごとに、その時間のめあてや課題(大切なポイント)が何なのかを明らかにして授業にのぞむことが大切です。授業では、その時間のめあてを達成するために、いろいろな学習活動を行います。その中には他の人の意見を聞いたり自分の意見を説明したりすることもあります。そうした活動をとおして、いろいろな導き方を知り、学びを深めていくことができます。だから是非とも、積極的に意見を述べ合ってほしいと思います。間違いをすることは価値のあることです。間違いは新たな発見のもとになるので、恥ずかしがらず発言するようがんばってください。

そして最終的に、学校での学びを自分のものにすることは、繰り返し家で学習を重ねることだと思います。自分で工夫して何度も繰り返し覚えたり、問題を解いたりすることでいろいろな力が身に付きます。自分が「～をやろう」と決めることに値打ちがあり、その学習を続けてやっていくことが自分自身の大きな力となっていきます。

